

第7期 財団法人こしじ水と緑の会事業報告

(平成18年10月1日～平成19年9月30日)

はじめに

第7期も自然環境の保護・保全活動及び研究活動に対する助成事業と財団独自の諸活動を柱とし、以下の事業を実施した。第6期に取得した「朝日城の森」の活用をさぐるため、「こしじ水と緑の会の集い」や「水と緑の自然学校」などの会場として活用をすすめた。

また、自然学校事業では委託開催から自主開催体制にあらため、越路地域に根ざしたテーマをもとにプログラムの試行を行なった。

なお、公益法人制度改革を前に、新制度下での公益財団法人への移行を意識した年度計画をもとに臨んだ年でもあった。

1. 助成事業

助成事業として、「第6回朝日酒造・自然保護助成基金」として実施した。

なお、詳細は以下のとおり。

(1) 一般助成（公募を行い、選考委員会で決定）

- ・応募期間：平成18年11月1日～平成19年1月31日
- ・選考：選考委員会にて選考の上、決定。
- ・交付：平成19年3月31日（土）に助成金交付式を開催。
- ・助成金総額：7,025,000円

「第6回(財)こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金」助成先一覧

申請受付順（敬称略）

No.	団体名	決定額	活動名
1	NPO法人 ブナ友の会	500,000	五頭山麓・放置スキー場への植林と道整備による里地里山再生プロジェクト
2	越佐昆虫同好会	500,000	「文献から見た新潟県のトンボ相の研究」及びその出版
3	通船川・栗ノ木川ルネッサンス	500,000	川から学ぶ地元学 第4回「子ども環境会議」
4	NPO法人 加治川ネット21	500,000	ファームボンド エコトーン創出事業
5	NPO法人 五泉トゲソの会	300,000	トゲソの保全に向けた冊子作りとトゲウオ記念講演会の実施
6	馬場吉弘	495,000	八千川（糸魚川市）における国内移入魚オイカワの生息状況調査
7	柴田 治	500,000	米沢街道（新潟県側・鷹の巣峠～榎峠～大里峠）の植物
8	生物技術者連絡会新潟	300,000	止水性サンショウウオ類の分布調査と保全対策の検討
9	松之山自然友の会	500,000	須山の花暦調査と観察ガイドマップ作成
10	松之山野鳥愛護会	300,000	里山の保全と地域の活性化を考えるシンポジウムの開催
11	NPO法人 エコロジーネットワーク	300,000	市民学習会「里山異変・出没するクマとの共存を考えよう」
12	子どもたちのための古民家再生委員会	450,000	子どもたちのための古民家を拠点とする「自然学校」動物観察と里山の整備
13	「セナミスミレ」を育む会	380,000	セナミスミレの調査と瀬波岩船海岸の植物について
14	NPO法人新潟水辺の会	500,000	新潟県内の中小河川の鮭の溯上と自然環境調査
15	生物多様性保全ネットワーク	500,000	特定外来生物「ブラックバス」の生息状況調査と駆除活動
16	信濃川をよみがえらせる会	500,000	信濃川中流域河川環境マップ製作

(財) こしじ水と緑の会

(2) 第4回 (財) こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護助成基金成果発表会を開催

期 日：平成18年11月3日(金)

時 間：13:30開会、16:30閉会

会 場：朝日酒造株式会社 事務棟2階 会議室

参加者：55名

内 容：助成活動団体(個人)毎に、持ち時間10分にて公開で発表を実施。

なお、開催に合わせて、予稿集を200部作成、来場者に配布した。

発表会終了後、希望により財団役員・発表団体・聴講者との交流会(会費制)を併催。

2. 財団独自の事業

財団自らがその目的を達成するために、以下の事業をおこなった。

(1) 「朝日城址の森」保全・整備事業

①「朝日城の森」の動植物調査を継続して実施した。

②散策道の障害となる高木(コナラ等)を冬季に伐採、キノコのほだ木として春の自然学校で活用した。

③水と緑の自然学校等の諸活動を支えるため、定期的に城址部と歩道の草刈を行なった。

④入口駐車場部へ看板を制作・設置した。

⑤入口駐車場部へ仮設トイレを設置(設置期間：4月～11月)

⑥今期に予定した「第4回越路の里山を考える会」は、7月に発生した「新潟県中越沖地震」のため開催を中止し、来期の11月23日に開催を延期した。

(2) 第3期からの新潟大学工学部院生(大熊教室)への「渋海川流域」の委託調査研究を継続。

第2年度の当該研究(修士課程：環境共生科学専攻・田口恭史氏)は最終報告が終了し、財団のホームページにて内容を公開した。

報告内容：「新潟県中越地域における河川トンネル群に関する研究」

(3) 水と緑の自然学校の開催

「水と緑の自然学校」事業を第6期に引き続き行なった。今期より、財団主催形式に変更し、朝日城の森を主会場として開催した。

第1回 期 日：平成18年10月11日(水)

会 場：朝日城の森

テーマ：森の酒文化に親しむ

内 容：自然観察、樹木(スギ)の手入れ及び酒林づくり

参加者7名(他、講師・スタッフ5名)

第2回 期 日：平成19年4月14日(土)

会 場：朝日城の森、朝日集落センター

テーマ：春の森に親しむ

内 容：春の草花観察ときのこのこま打ち体験

参加者23名(他、講師・スタッフ4名)

第3回 期 日：平成19年6月2日(土)

会 場：朝日城の森

テーマ：樹木とふれ合う

(財) こしじ水と緑の会

内 容：樹木の観察、樹木博士検定に挑戦
参加者 24 名（他、講師・スタッフ 5 名）

第 4 回 期 日：平成 19 年 9 月 1 日（土）

会 場：渋海川の河原（朝日地内）

テーマ：渋海川で川遊び

内 容：樹木の観察、樹木博士検定に挑戦
参加者 35 名（他、講師・スタッフ 6 名）

3. 普及啓発事業

会報を当初計画通り年 6 回を発行した。

- | | | |
|---------------------|----------|---------|
| ① 平成 18 年 11 月 15 日 | 第 25 号発行 | 1,000 部 |
| ② 平成 19 年 1 月 15 日 | 第 26 号発行 | 1,000 部 |
| ③ 平成 19 年 3 月 15 日 | 第 27 号発行 | 1,000 部 |
| ④ 平成 19 年 5 月 15 日 | 第 28 号発行 | 1,000 部 |
| ⑤ 平成 19 年 8 月 20 日 | 第 29 号発行 | 1,000 部 |
| ⑥ 平成 19 年 9 月 18 日 | 第 30 号発行 | 1,000 部 |

4. 会員募集

財団の広報活動として、以下の活動を実施した。

- ① 財団パンフレットの配布。
 - ・「朝日酒造酒蔵見学会」の来場者へ配布。
 - ・「ながおか環境まつり」の展示ブースにて配布。
- ② 財団ホームページの情報更新、入会受付の広報を実施。
- ③ 「第 4 回こしじ水と緑の会の集い」を開催

県内・県外（首都圏）会員及び会員希望者を対象に開催した。

期 日：平成 19 年 4 月 21 日（土）10:30 集合（長岡駅～朝日酒造前）

参加者：31 名

会 場：長岡市越路地域

内 容：朝日城の森での自然観察と昼食、渋海川頭首工見学、越路地域ホテルの里見学（塚野山、牛の首）、交流会。

5. 会員の動態

(1) 会員数の現状（平成 19 年 9 月 30 日現在）

- | | |
|--------|----------------|
| ① 個人会員 | 6 1 2 名 |
| ② 法人会員 | 9 0 名 |
| 計 | <u>7 0 2 名</u> |

※参考：第 6 期末（平成 18 年 9 月 30 日現在）

- | | |
|--------|----------------|
| ① 個人会員 | 6 3 6 名 |
| ② 法人会員 | 9 8 名 |
| 計 | <u>7 3 4 名</u> |

(財) こしじ水と緑の会

(2) 会費 (平成18年10月1日～平成19年9月30日迄)

・会費 2,124,000円

6. 収益事業

財団所有の建物の一階部について朝日商事(株)と賃貸契約を継続。

7. 基本財産の充実

健全な運営ができるよう基本財産の更なる充実が必要である。そのため、寄付金を募り、この一部を基本財産に繰入れた。

(1) 寄附金等 (平成18年10月1日～平成19年9月30日迄)

・一般寄附金	12,142,608円
・その他寄附金	1,935,000円
・基本財産へ繰入	4,300,000円
寄附金 合計	<u>18,377,608円</u>

以上